

# 平成 29 年度公共事業再評価の対応方針について

平成 29 年度公共事業再評価の対象となった 4 事業 5 箇所について、長野県公共事業評価監視委員会の意見具申を踏まえ、対応方針を以下のとおりとします。

## 1 長野県公共事業評価監視委員会の意見

公共事業評価監視委員会（委員長：永藤壽宮氏）に意見を求めた再評価対象に関して、同委員会から県の再評価案を「妥当」とする意見の具申がありました。

経緯等 平成 29 年 7 月 20 日 第 1 回長野県公共事業再評価委員会（再評価案作成）  
 平成 29 年 8 月 10 日 公共事業評価監視委員会（審議 4 回、現地調査 2 回）  
 ～12 月 8 日  
 平成 30 年 1 月 17 日 公共事業評価監視委員会から意見具申

## 2 県の対応方針

再評価対象に対する県の対応方針は、表－1 のとおりとします。また、方針理由は【別紙 1】、委員会からの意見に対する対応は、【別紙 2】 のとおりとします。

表－1 平成 29 年度 公共事業再評価対象箇所一覧及び対応方針

担当 部局	分野	再評価 理由	事業名	路河川名等	箇所名 (市町村名)	採択 年度	現行計画		県の再評価案		評価 監視 委員会 意見	県の 対応 方針
							総事業費 (百万円)	H29末 事業 進捗率 (%)	県方針 (案)	コスト 縮減額 (百万円)		
建設部	道路	10年経過	社会資本整備 総合交付金 (道路)	一般国道256号	漆畑拡幅 (南木曾町)	H20	2,200	84.8%	継続	-	県案 どおり	継続
		10年経過	防災・安全交付金 (道路)	主要地方道 長野真田線	松代 (長野市)	H20	3,150	65.1%	継続	-	県案 どおり	継続
		10年経過	防災・安全交付金 (道路)	主要地方道 丸子信州新線	大岡 (長野市)	H20	1,100	70.5%	継続	-	県案 どおり	継続
	砂防	5年未着工	通常砂防	(砂)段ノ原沢	小松原 (長野市)	H21	180	11.2%	継続	-	県案 どおり	継続
林務部	地す べり	10年経過	地すべり防止	(地)長久保	長久保 (安曇野市)	H20	1,623	66.4%	継続	-	県案 どおり	継続
合 計					5箇所		8,253					

## 平成29年度 公共事業再評価の対応方針

No	路河川名 箇所名	再評価 理由	県の対応方針		担当 部局
			方針	方針理由・見直し内容	
社会資本整備総合交付金（道路）事業					
1	一般国道256号 漆畑拡幅 (南木曾町)	10年経過	継続	当該路線は、伊那谷と木曾谷を結ぶ第一次緊急輸送路であるとともに、中央自動車道、国道19号の迂回路となっている。しかし、狭あいな幅員と線形不良により、円滑な走行に支障をきたしており、安全・安心の確保と地域経済発展の観点から事業の必要性が高く、「継続」とする。	建設部
防災・安全交付金（道路）事業					
2	主要地方道 長野真田線 松代 (長野市)	10年経過	継続	当該路線は、長野地域と上田地域を結ぶ第一次緊急輸送路である。しかし、狭あいな幅員と線形不良により、恒常的な渋滞や交通事故も頻発しており、安全・安心の確保と地域経済発展の観点から事業の必要性が高く、「継続」とする。	建設部
防災・安全交付金（道路）事業					
3	主要地方道 丸子信州新線 大岡 (長野市)	10年経過	継続	当該路線は、第二次緊急輸送路であるとともに、長野市大岡地区の中心地にある。しかし、幅員が狭く歩道が未整備であり、地域住民の安全・安心を確保する観点から事業の必要性が高く、「継続」とする。	建設部
通常砂防事業					
4	(砂) 段ノ原沢 小松原 (長野市)	5年 未着工	継続	当箇所は、土砂災害特別警戒区域内に要配慮者利用施設が存在しており、人命を守り安全・安心を確保する観点から事業の必要性が高く、「継続」とする。	建設部
地すべり防止事業					
5	(地) 長久保 長久保 (安曇野市)	10年経過	継続	地すべりによる災害を防止することにより、安全・安心な暮らしを確保する観点から事業の必要性が高く、「継続」とする。	林務部

## 平成29年度公共事業評価監視委員会からの 意見に対する対応方針

No	事業名 箇所名	審議上の意見	県の対応方針
1	社会資本整備総合交付金 (道路) 事業 (一) 256号 漆畑拡幅 (南木曾町)	・ 特になし	
2	防災・安全交付金 (道路) 事業 (主) 長野真田線 松代 (長野市)	・ 松代は町中の通過車両が時間帯によって多く、町なみ景観保護にも支障がある。伝統的な建築も多くあり、当該事業が完成すると交通の分散が図られ、松代らしい雰囲気のあるまちづくりの一助になるのではと思われる。早期の供用が望ましい。	・ 早期供用が図られるよう、重点的に事業に取り組んでまいりたい。
3	防災・安全交付金 (道路) 事業 (主) 丸子信州新線 大岡 (長野市)	・ 特になし	
4	通常砂防事業 (砂) 段ノ原沢 小松原 (長野市)	・ 現計画の堰堤は不透過型であるが、流木対策を考える場合、透過型の効果が高い。本年度5月に発生した飯山市の土石流では、透過型の堰堤が流木、巨石を受け止め、防災効果を発揮した。実施にあたっては、上流の状況などを加味しつつ、構造について検討されたい。	・ 砂防堰堤の整備にあたっては、国の設計基準や上流の荒廃状況等を踏まえ、構造の検討を進めてまいりたい。
5	地すべり防止事業 (地) 長久保 長久保 (安曇野市)	・ 特になし	